

(別紙2)

生成 AI を活用した製造業 DX 最先端モデル創出業務 プロポーザル評価要領

「生成 AI を活用した製造業 DX 最先端モデル創出業務」を委託するに当たり、契約の締結先として最もふさわしい者を選定するため、提出のあった企画提案の審査を下記のとおり実施する。

1 審査会の設置

(1) 審査会の名称

生成 AI を活用した製造業 DX 最先端モデル創出業務プロポーザル審査会

(2) 審査委員

審査委員の人数は3人とする。

2 審査の進め方

企画提案書、見積書及びプレゼンテーションを踏まえ審査を行う。

なお、下記の基準に満たない提案者は失格とし、審査会での審査を行わない。

(1) 見積価格が予算額を超えた場合

(2) 公募型プロポーザル参加資格要件が欠落していた場合（生成 AI を活用した製造業 DX 最先端モデル創出業務プロポーザル実施要領（以下「実施要領」という。）の4関係）

3 選定方法

(1) 各審査委員が4の審査項目及び評価基準に従い、提案者ごとの評価点（14点満点）をつける。

(2) 審査委員ごとに評価点の高い提案者順に、順位点を付与する。

<順位点>最も評価点の高い提案者：1点、2番目に評価点の高い提案者：2点、
3番目に評価点の高い提案者：3点・・・

(3) 各審査委員の順位点の合計が最も低い提案者を、最優秀提案者として選定する。

(4) 最優秀提案者以外の提案者についても、順位点の合計が低い提案者順に順位付けを行う。

4 審査項目及び評価基準

【審査項目1】「生成 AI を活用した製造業 DX を支援した実績」の新規性（5点満点）

(審査内容)

支援した実績に新規性や独創性があるかを評価する。

(採点基準)

5点：国内でも類例が少ない先進的な取組であり、新規性が極めて高い。

4点：国内で散見される取組であるが、新規性が高い。

3点：国内では取組事例があるが、県内では初の取組である。

2点：県内では数少ない事例であり、新規性が高い。

1点：国内・県内でも一般的な取組であり、新規性がない。

【審査項目2】伴走支援計画の実現可能性（3点満点）

(審査内容)

製造業 DX を進める上での目標、課題が明確になっていること。その上で、課題解決方法が妥当な内容であること。

(採点基準)

3点：目標、課題が明確で、解決策として妥当な計画である。

2点：目標、課題は明確だが、解決策が不足している。

1点：課題が抽象的であり、計画に実現可能性が低い。

【審査項目3】実施体制（3点満点）

(審査内容)

伴走支援、イベント運営を遂行できる体制であること。

(採点基準)

3点：社内外に適切な専門人材を配置しており、実施体制に問題なし。

2点：計画に対して専門人材が不足しており、実施体制に疑問がある。

1点：計画に対して専門人材が存在せず、実施が怪しい。

【審査項目4】普及啓発イベントの企画・運営（3点満点）

（審査内容）

「とっとり産業未来フェス 2025」において来場者に製造業の未来を訴求できる内容になっていること。

（採点基準）

3点：高度な創意工夫がなされ、来場者への訴求力が非常に高い。

2点：一定の創意工夫があり、来場者の理解や関心を引く内容となっている。

1点：創意工夫が乏しく、訴求力や分かりやすさに欠ける。

5 その他

（1）順位点の合計が同点であった場合は、審査委員の協議により順位を決定するものとする。

（2）実施要領9に記載のプレゼンテーションを欠席した審査委員があった場合、評価にあたっては、当該委員が事前に評価を行った審査項目についてはその評価点を採用し、評価を行わなかった審査項目については出席した委員の平均点を欠席した委員の評価点とする。また、協議を行う場合は、出席した委員のみで行うこととする。